



## 東京地本がRWCと東京オリ・パラをPR

自衛隊東京地方協力本部（本部長 荒井陸将補）は、今年9月に開幕するラグビーワールドカップ（RWC）と、開催が来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をPRするイベントを、市谷本村町に所在する本部庁舎正面玄関で開始した。

これは、日頃から部外と自衛隊との連絡窓口として活動している自衛隊東京地方協力本部が、日本で初めての開催となるラグビーワールドカップ2019と、東京をメイン会場として我が国で56年ぶりとなる夏季オリンピックの開催機運の醸成に貢献するため、東京都庁や大会組織委員会と調整して実現したものである。

自衛隊東京地方協力本部の正面玄関には、東京都庁及び大会組織委員会から提供を受けた富士山に昇る太陽をあしらったロゴが印刷されたラグビーワールドカップ2019の「のぼり」とポスターを掲示し、エントランスでは新グラフィックとエンブレム等をほどこした東京オリンピック・パラリンピックの「のぼり」を設置するとともに、モニターでPR動画を放映している。

来訪者は足を止めモニターに映し出される映像に見入る等、二つの世界的イベントに対する国民の関心の高さが伺え、自衛隊東京地方協力本部では、日本中に大きな感動や希望を与えることが期待されるラグビーワールドカップ及び東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げるべく、引き続き広報イベントを継続していくとしている。



ラグビーワールドカップ2019



東京2020オリンピック・パラリンピック

## 公安系合同採用説明会で自衛隊をPR

自衛隊東京地方協力本部国分寺募集案内所（所長 梅村一空尉）は、3月30日（土）、東村山市において「公安系合同採用説明会」を行った。

防衛省・自衛隊、法務省・刑務官、警視庁、東京消防庁、海上保安庁の5個団体が一堂に会するこの採用説明会は、東村山市の協力を得て今回で3回目の開催であり、「守れるべきものを守る自分」をキャッチフレーズとし、5個団体共通のポスターをHPやSNSで紹介した結果、多くの学生や保護者の参加が得られた。参加者からは、「複数の公安系業種の説明を一度に聞けて、有意義な説明会だった。」「防衛省・自衛隊の業務に対する理解が深まった。」等の声が聞かれた。

また、それぞれの募集担当者が他団体の説明を聞くなど、5個団体の相互認識を深める場面もあった。「公安系合同採用説明会」は、公安職への就職を希望する方々が効率的に情報収集できる場として関心が高く、各団体の情報共有としても有益であり、国分寺募集案内所は、より効果的に防衛省・自衛隊の魅力伝える要領を検討しつつ、関係団体と連携し、今後も継続的に説明会を開催していきたいとしている。



## 東京地本出陣式

自衛隊東京地方協力本部（本部長 荒井陸将補）は4月11日、年度の開始にあたり、任務必成の気構えを醸成することを目的として「出陣式」を実施した。

出陣式ではまず始めに、昨年度1年間、東京地本を見守ってくれた大きな達磨の右目に、本部長が感謝を込めて墨筆で丸い目を入れた。

その後、平成31年度の新しい達磨の左目に、地区隊長、各課室長及び副本部長が一筆ずつ目を入れ、今年度の決意を述べた。最後は本部長が左目を完成させ、全隊員で目標達成を祈願した。

目入れ後、本部長は、「今年度は、達磨に「大願成就」と「部内安全」を願掛けした。それぞれが「任務を達成する」等、具体的な目標を持っていると思うが、それは努力して自分で取りに行くものであり、こういった達磨のような神事的なものには、個人、課室、班それぞれの目標、全ての願いが叶うように代表して「大願成就」とお願いした。「部内安全」の「部」は、地方協力本部の「部」であり、安心して全てが安らかに、という意味を含めた。安全も健康も、所属隊員一人一人とご家族も含めて、全部これに願掛けをした。しっかりとやっていく」と訓示した。

締めを飾る「関（とき）の声」では、副本部長の「本年度の目標達成を祈願し、行くぞー！」との掛け声に、全隊員が「エイエイオーツ」と力強く声をあげた。

その後、参加者全員で庁舎屋上において、東京のランドマークである東京スカイツリーを背に記念撮影を実施した。昨年完成した本部庁舎で迎える初めての年度開始にあたり、隊員一同「大願成就」し、「部内安全」に業務を遂行できるように、決意を新たにしてお出陣式を終了した。

